

碓井 真行作 (「ペーパーワーク 21 広島展」より)

大阪で、



立木トラスト西日本集會

山と島と都市の集い '91 大阪

— 1本の立木から地域と都市のつながりを考えよう —



今、瀬戸内海を囲む山々、島々には8000本の立木にメッセージがかけられ、オーナーの名前が刻まれています。乱開発を許さないたくさんの思いが、20ヶ所で「ゴルフ場ノー！」の声を挙げて立っているのです。

せっかく結ばれた山と島と都市の人々が、顔を見て出会い、言いたいことを話し合っ、私たちの社会のこれからを考えようというのが今回の催しです。

狭い地域社会の中で孤独になりがちな田舎の人達の悩みや、自然に抱かれて生活する喜び、都市の生活の息苦しさや矛盾、山や海への思い、人々のつながりの豊かさ、そんな全てを交流し合いたいと心から願っています。

ジョン・レノンが歌いました。

「国なんかないと想像してみよう(imagine)。そんなに難しいことだろうか？ 殺す名目も殺される名目もなくなるだけ... そして人類みんなが平和に暮らすだけ」

私たちもみんなでイメージ(想像)しましょう。

「ゴルフ場なんかないと想像してみよう。何か困ることがあるだろうか。わたしたちの大事なふるさとが守られるだけ... そう、

フナを釣ったあのため池も、カワセミのいたあの小川も、

クワガタをとったあのも、シオマネキをつかまえたあのも...
そして、昔と同じように、次代に伝えてゆけるだけ」

一本の立木に掛ける夢をみんなで語りましょう！！

と き / 1991年12月8日(日) 12:00 より

ところ / エル・おおさか(大阪府立労働センター)

参加費 : 500 円(資料費別)

主 催 : 関西水系連絡会・環瀬戸内海会議

06(946)2377

0898(32)0100

会場案内

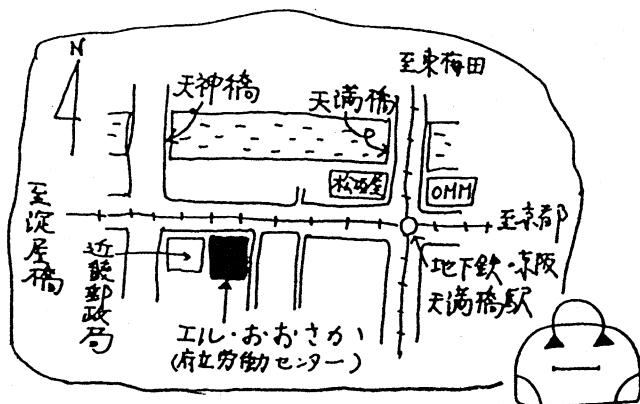
新幹線でおこしの方

新大阪駅から地下鉄御堂筋線で淀屋橋まで。そこで京都行きの京阪電車に乗換え天満橋まで。

在来線でおこしの方

地下鉄谷町線の東梅田駅から天満橋までおこし下さい。

天満橋からは徒歩約5分です。





トラストのみかん・イヨカンほぼ全滅

中島農研会 泉 精一

洪水は高い所から低い所に向けて流れる水の猛威です。逆に低い所から高い所に向けて激流が起き、高い所にあった建物を破壊し流失する大洪水。その余波は数百米の高所にあるみかんの木も枯らすほどの海水の雨を降らす。これが、この度の私の島を襲った平成の高潮風害です。

9月27日夜、来襲した台風19号は、私達の郷土中島町に猛威をふるい、基幹産業である“みかん”が80%以上の減収となりました。中でも南向きの「おいしいみかん」を産出している小浜、長師、宮野、神ノ浦、宇和間地区では壊滅状態となりました。愛媛県全体の被害を上まわるみかんの被害額となりました。

私の住む宇和間地区は住宅が島の北側にあり、農地の大部分が南西に面した海外に添ってあります。2キロに及ぶ砂浜の上側を県道が通り、道路添いには約50棟のみかん貯蔵庫がありました。この半数が高潮と激浪により流失しました。

私も一戸が全壊、一戸が半壊、一戸は2ヵ所の入口がもぎ取られて、中にあった貯蔵箱（キャリーケース）及びダンボール、農機具等々、事務所も兼ねていたの机、イス、フ

ックス、電話などのすべてが流失し、20坪ほどの部屋に納めてあったものがごとごとく持ち去られていました。一方、倒壊した倉庫にはビッシリと海からの漂着物がつまっていました。

この夜は大浪が激流で押し寄せ、その飛沫は島全体に塩の雨を降らせ、まったくの雨なし台風であったことが被害を大きくしました。見渡す限りやますそから山頂まで植物は赤く枯れ、海岸の防波堤は決壊、アスファルト道路は陥没、流失、多くの建物の倒壊等、見渡す限りの荒涼たる様は例えようもありません。

海から押し寄せる水の力、自然の破壊力のすさまじさ、自然とは、農業とはを今、ひしひしと考えさせられているところです。

自然はすべてを破壊しつくすことはないでしょう。自然を見つめて育ってきた木々も枯死してしまうこともないだろうと信じています。“災いを転じて福となすべく”

それにしても、消費者のみなさんには、即刻、駆けつけてご援助いただき感謝しております。いまさらながら、有機農業運動のありがたさを痛感しているこの頃であります。

取り急ぎご報告方々、お礼申し上げます。

11月4日、台風被害のお見舞いと今後のトラストをどうするかお話するため、事務局から中島に行って参りました。松山からフェリで一時間、全島が真っ赤に見えます。山の上までの塩害です。収穫を待つばかりだったみかんの木々が立ち枯れています。昨年9月の札かけの日の緑あふれる平和な風景は一変していました。トラスト地権者の中には、今年の収穫を全て失われた方もおられます（さっそく出稼ぎに出られた方も）。それでも中島の方々は、今は枯れたように見える木々が、春には又芽ぶいてくれるかもしれない、来年は収穫が得られるかもしれないと期待しておられます。以上のようなわけで、申し訳ございませんが今年はみかん・イヨカンをお客様の皆さまにお送りできません。その分は来年以降に回させていただきたいと思っております。私たちは小さな島でゴルフ場・リゾート・ノー！と勇気をもって農業を選択された地権者の方々を、応援してゆくため何ができるか考えてゆきたいと思っております。励ましのお便りは 〒791-45 愛媛県温泉郡中島町宇和間 泉 精一さんまで。またカンパは郵便振替で、徳島 4-9493 瀬戸内トラストレゾ松山 までお送りいただければ幸いです。（事務局）

台風一過の現地報告

事務局

全国に猛威をふるい大きな被害をもたらした台風19号。トラスト各地の状況を電話でお尋ねしました。どの地方も屋根が飛ばされたり、木が倒れたり。自然の中で生きる厳しさが伝わってきました。トラストの札が飛ばされている所も多く、かけかえ作業を急いでおられました。

山陰地方

島根県、益田市、美都町、伯太町では、特に大きな被害はなかったとのことでした。

山口県田万川町では、運動の仲間の農家の中にもりんごやくりの80%が落下した所も。

西瀬戸

山口県、大島町、平生町、伊陸町はかなりひどい被害を受けている。中島町と同じ塩害で山が茶色に枯れている。大島町ではみかんが5割の減収、平生町では床上、床下浸水があって、田や畑が冠水した。伊陸町では、植林10年足らずの檜や松が枯れたり、倒れたりしている。

愛媛県では中島町が左ページのような状況だが、中島町は特にみかんの専業農家が多く被害を大きくしている。弓削町の被害は、それほど大きくなかったようです。

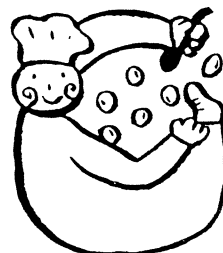
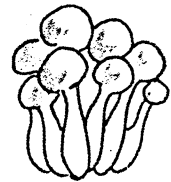
その他

徳島県、黒沢湿原

香川県、三木町、岡山県、笠岡市

なども、比較的被害は少ない。

兵庫県、市島町では、いっしょにトラスト運動をしている農家のメンバーの方の鶏舎が倒れ、4000羽のニワトリが圧死。その他多数も傷つたとのこと。



どの場所も地権者の方は、わたし達の木と山を大切に守っていて下さっている様子が伝わってきました。オーナーの方々も、どうか山と木のためにお心にかけて下さいますように。



落ちたミカンが散乱する畑で、30年以上育てた木の枝を切り落とす中田さん夫婦。＝温泉郡中島町宇和間で

1/9 朝日

中国山地

広島県、三次市、福富町、三和町は、たいした被害なし。上下町では、NABAランドの大きな檜が20本も倒れた。東城町の地権者の方々のりんごは落下もあって、何割かの減収。「このりんごはおいしい」との言葉が思い出される。河内町は、台風そのものの被害というより、台風に見せかけて、トラストの札が100枚程、ひきちぎられて落とされていたとのこと。今までも数枚ずつ落とされたりしていたので、ヒモを、太い針金に変えたばかりだったという、地権者の森原さんは「今度このようなことがあれば、マスコミに発表して、何とかしたい」と言っておられた。



台風にみせかけて
悪質な札落し事件 ↑
(河内町)



わたしオーナー

オーナーとしての願い

沼津市

井手敏彦

発足一年にして、すでに二万五千本の立木がトラストされ、現にいくつかのゴルフ場の侵略計画を阻止しているという。この「立木トラスト」の成果は、山や海をひたすら金儲けの空間としか見ていない亡者たちへの、思いがけない痛棒であったと言えよう。

私も、早くに、ささやかながら数本の立木をトラストしたが、その展開の広がりは、近年の自然保護運動のなかでも特筆に値すると思う。このトラストだけですべてが解決しないだろうし、相手は更にこの痛棒をかいくぐる術策を弄してくるに違いない。だから、それに備えてトラストも次々と防りを固め、さらに攻めに転じなければならぬだろう。ポスト「立木トラスト」の構想が求められるであろう。

トラストした私が曲りなりにもオーナーと呼ばしていただけるなら、オーナーとしては、その立木の運命をより切実に感じ、オーナーらしい愛着を持ち、かつ十分な責任を果したい。立木が立木としていつまでも豊かに成長してほしい。その管理や成長のために、自分では直接手をかけられない故の、せめてもの負担をとこんと負いたいと思う。その立木がどんな運命にあるか、どんな境遇にさらされているかを知り、必要な行動をとりたいと思う。

先般の台風による被害が大変だったと聞くだけに、一層そのことが気になる。抵抗手段としての「立木トラスト」が、より人間関係・社会関係の絆となることを今後考えてほしい。(元沼津市長、全国自然保護連合理事)

立木トラストへのメッセージ



- ・久司山のふくろうの為、この木、切るな
- ・“かぶど”と“くわがた”のおうちをこわさないで
- ・母の日の記念に
- ・わが心、高原のこの木の上。切らないで下さい。
- ・勝利は持続にあり
- ・この木を守ることは、地球を守ることです。
- ・ゴルフ場をふやさずに、休日を考えたらどうですか？
- ・10年後、2001年にそこにいてください。
- ・木は喜(よろこび) 木は貴(とうとい) 木は奇(ふしぎ)
- ・木は気(気をつかさどる) 木は基(おおもと)
- ・木は帰(私の帰るところ) 木は輝(かがやき)
- ・この木は21世紀への贈り物です。

- 東京 / 千葉
- 豊中 / 中井
- 堺 / 川崎
- 大阪 / 今中
- 枚方 / 堺
- 三次 / 伊達
- 三次 / 岡本
- 兵庫 / 加藤
- 横浜 / 藤田
- 倉敷 / 筒井

ーです!



テレフォンインタビュー

どんな生命も大切

東大阪市の宮浦博子さんに聞く

問い：宮浦さんは何回目かのトラストをして下さって、最近「20歳の記念樹に」とのメッセージで申し込んで下さいましたね。この方は娘さんですか?

宮浦：はい、大学生の一人娘の誕生日祝いに、良い贈り物だと思って、木をプレゼントしました。

問い：ステキな贈り物ですね。オーナーになって下さったきっかけは、どういうことでしたか?

宮浦：実は、昨年主人が生命にかかわる大病をしまして、お陰様で一命をとりとめました。この体験から、人生観が変わりまして、ほんとうに、生きているものは、どんな生命でも大切だと、しみじみ思うようになりました。

それで、ささやかですが、トラスト運動に参加しています。柿田川、天神崎尾道の景観を守る会などです。私は尾道の自然豊かな所で育ちましたので、最近私の住む近くの生駒山などが削られていくのを見ていますと、残念でなりません。何とかこのような自然の破壊に歯止めをかけたいと願っています。

問い：よいお話、ありがとうございました。今後共、見守り、ご助言いただけますように。



生協活動とトラスト運動

生活協同組合都市生活 辻 素子

わたしたちは、この春、私共の生協が加入する「協同組合石けん運動連絡会」主催のしゃぼん玉フォーラムで立木トラストに出会いました。この時、わたしたちが共同購入しているタオルの生産者が、この運動に関わっておられることがわかったのです。そして、そのタオルから水のこと、川のこと、海のこと、環境のことを知り、根っこは、一つなのだということを再確認しました。

わたしたちは、生産者と顔の見える関係を大事にし、生産生活者と消費生活者が共に安心出来るものを共に作り上げようとしていますけれども、それは、常に山から海へ、田舎から都市へとモノの流れだけに終わってしまう危険性をはらんでいることをそのとき知りました。

わたしたち、都市に住んでいる消費生活者が里山を守って下さっている生産生活者に、都市から田舎へという方向でなにが返せるだろうかと考えました。そして、わたしたちの生協でも、生協としてトラスト運動への協力呼びかけをしようということになりました。

先日、阿部さんにおいで頂いて、勉強会をもち、これなかった組合員には、お話の要点をまとめてよびかけチラシを配り、わたしたちの環境を守りましょと呼びかけました。現在集約中ですが、150本の申し込みがきています。都市住民は「カネを出しカオを出し口を出す」を合い言葉と一緒に地球を守りましょ。

(理事)

ゴルフ場ストップ、その後

福崎 裕夫 (兵庫県)

昨年11月23日、上下町矢野の「誰故草の里を守るトラスト」会場には約200人の人が集まった。9月に芦田川の川下りキャラバン隊と称して、ゴムボートと徒歩で河口堰まで下り交流を行ったのだが、その時の参加者も家族連れで来てくれた。

開会行事を終え2ヵ所で札掛けを行った。同時に会員手作りの巣箱もかけた。家族連れの参加者には好評だった。巣箱に入った鳥たちにも一緒に森を守ってもらおうというわけである。ゴルフ場建設反対署名も順調に集まって提出も済ませた後でもあり、会場は和やかで和気あいあいの雰囲気につつまれていた。昼食はオニギリと豚汁。札掛け後は矢野温泉で入浴。そしてMGユースホテルでの交流会では「遊鼓」による太鼓、懇親会と楽しさ一杯のイベントだった。そして12月、ゴルフ場計画は私たちの建設反対陳情を議会が採択するという形でストップした。

その直後から私たちはNABAランド構想を打ち出した。これはなば(キノコ)作りを通じて都会の人達と、森や、綺麗な水や空気、そして自然の大切さを学び生かす実践の試みである。これも幸い好評でこの11月3日には京阪神を中心に約150人の皆さんが集い大成功だった。パブルははじけたとは言え、ゴルフ場のようなうま味十分な話がまたいつどんな形で再燃するかわからない。私たちは立ち止まらず、時には休息を取りながらも、原点を忘れず着実に歩いて行きたい。

(水と緑と命を守る会)



ゴルフ場「撃退」、キノコ山造り

上下町「NABAランド」

立ち木トラスト運動などでゴルフ場の開発を、事実上ストップさせた広島県甲奴郡上下町の市民グループ「水と緑と命を守る会」(実原進会長、三十人)が、「ゴルフ場に代わる手作りのリゾートを」と、ゴルフ場予定地だった土地の近くに、キノコ狩りの山をつくった。この地域ではキノコを「なば」と呼んでいることから、名付けて「NABAランド」。三日にはシイタケのはたオナーになった都会の人たちを招き、地元の人たちとの初の交流会「NABA祭」を開いた。過疎対策としてゴルフ場誘致が相次ぐ山間部に、「地元から沸き起こった新しい試み」と期待が高まっている。

「反対だけじゃだめ」住民らが試み

を始めた。その後、町議会が実原さんから反対住民の陳情を受け入れるかたちでゴルフ場の建設反対を決議。事実上、開発計画は棚上げになった。

その後、「反対運動だけに終わらせないで、手作りのリゾートをつくらう」とシイタケづくりを通じて全国の人たちと交流する「NABAランド」を計画。ゴルフ場予定地近くの山約二十軒にはだ木約三百五十本を置いて今年二月、立ち木トラスト参加者を中心に一口三千円で全国からオナーを募ったところ、約五十人の応募があった。

三日の交流会には、百人のオナーが京阪神などから参加した。地元の人たちは、きね、うす、大なべなどを持ち込んで、草もちや田舎汁でもてなし、岐阜県在住のフォーク歌手南修治さんが自然をテーマにしたオリジナル曲を歌って、交流会を盛り上げた。

立ち木トラスト運動で環境破壊に反対している広島経済大学助教教授の船木高司さん(会名)は「開発をストップさせた後の方がむしろ地域住民にとっては、重要な問題。その意味でNABAランドは百年、二百年先を見据えた取り組みで、ほかの市民運動の指標となる」と話している。

自然がいっぱいの「NABAランド」で初の交流会を楽しむ参加者ら
11月3日午前11時50分、広島県甲奴郡上下町で

地域の人間関係を壊すゴルフ場

中岡 和己 (広島三洲市)

9月1日(日)、好天气に恵まれ約30名の参加者を得て、立木トラストを実施しました。ゴルフ場建設が阻止できるかどうか不安な中で、このトラストは大きな力を私達に与えてくれました。地域外で私達の運動を支えてくれる人達がいる、同じ考えの人がいるということは本当に嬉しいことで、地元の参加者はずいぶん勇気づけられました。

このトラストに入る前に、私達の会には大きな問題が起きていました。メンバーである地権者の一人が裁判を起こされたのです。ゴルフ場建設に一度も同意などしたことはないのに、同意しながら反対運動をしたのです。これは明らかに反対運動に対する嫌がらせであり、弱いものいじめです。会員の中には多少の動揺が起きました。そのような中でのトラストでした。

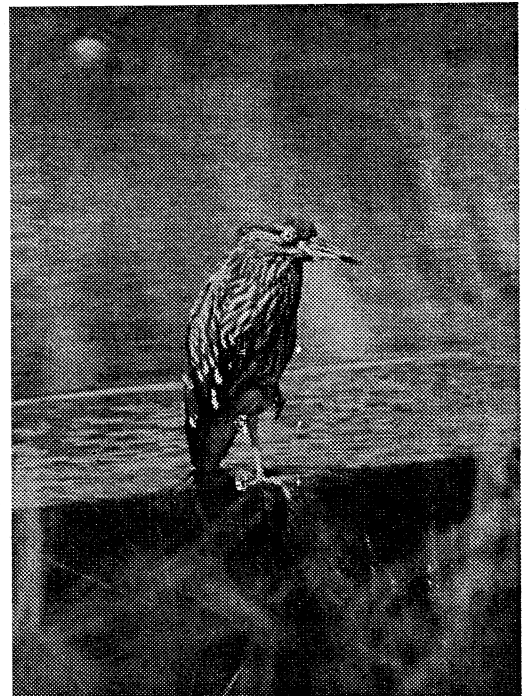
1月に「子供達に自然の恵みを伝える会」を結成し、署名運動、市への請願、植物の植

生調査などを進めてきました。そして9月14日には、ついにあの幻の(?)オオサンショウウオを発見し、建設阻止への弾みがつきました。当初「反対してもゴルフ場はできる」と言っていた人達も、最近では「もうできやあせんよー」に変わってきました。別のゴルフ場建設では賛成に廻った市会議員の一人も地元の反対の強さに態度を換えてきています。業者は設計変更をして、市へ事前指導申請書を提出しています。いよいよこれからが正念場です。決して油断など出来ません。何をしてくるか分からない人達が相手ですから。

しかし考えてみれば寂しい話です。つい最近までいろいろ協力してきた者同士が、まるで敵味方に別れ、腹の探り合いをしているのです。祭りで一緒になっても何かしらけてしまいます。こうして地域を壊すことが、きっと活性化なのでしょう。

(子供達に自然の恵みを伝える会 代表)

近くの川で見かけるササゴイ
→
トラストの丸かけを終えて拍手する参加者(三洲市)



はじめた周防大島の立木トラスト

河村 保郎 (山口県大瀬川町)

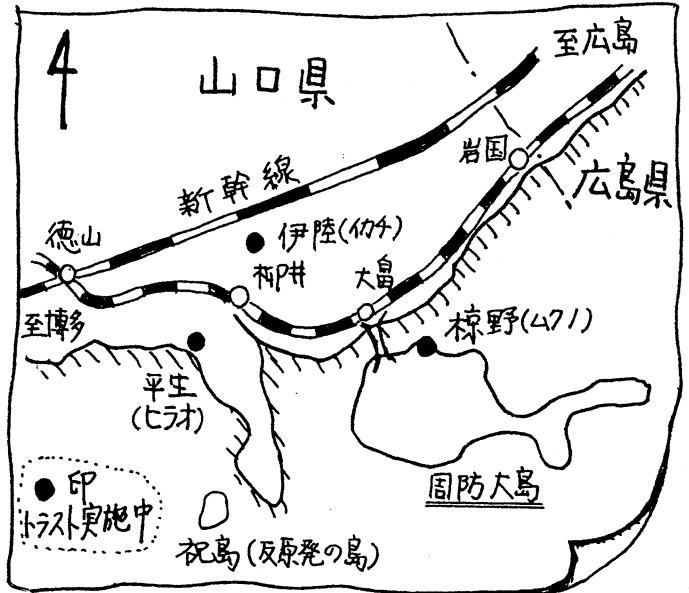
「周防大島」が私たちの住む島の通称ですが、「大島」という名前の島はたくさんあるので、周防(すおう)をつけて他と区別しています。中国地方の地図をご覧になると、広島のはぼ南、魚の形をした4町、人口 25,000 人の島で「屋代島」と表示されています。

15年前、「大島大橋」ができて本州と陸続きになりました。住民には大変幸せな事でしたが、人口減少の歯止めにはなりませんでした。過疎脱却を旗印に、行政はリゾート事業に関心を持ち始め、島内2ヶ所にホテル建設計画が進行中です。

久賀町では、当初温浴施設等保養を主目的にしたホテルという事で、どちらかといえば歓迎すべき施設だと町民が思っていました。ところが、その後、山口県・島内4町とリゾート会社によって設立された第三セクターの発表した計画はまったく違って、ホテル・ゴルフ場・マリーナの3点セットでした。しかも、ゴルフ場予定地は住宅のすぐそばにまできており、井戸水や泉を水源とする住民の生活権をおびやかす計画でした。

私たちの住む椋野(むくの)地区の人口は久賀町全体の六分の一程度のいわばマイナーな存在です。ゴルフ場は地域の西側、ホテル予定地は東側で、両方から挟みうちにされるような形で計画されています。町中心部に住む人の中には、椋野が活性化するからいいじゃないかといいますが、私どもは自然だけでなく心の環境破壊だと思っています。

既に、ホテル予定地の買収は町職員が主になって行われ完了しました。ゴルフ場予定地の一部は、20年以上前からリゾートを目的に多くの業者の手垢がつき、今年7月には大島町職員が汚職で逮捕され、後で起訴された事件が発生しています。ゴルフ場予定地の半分



は大島町三蒲(みがま)地区になっており、住宅に近接していることは椋野同様です。

昨年10月に地権者説明会が行政、開発会社によって行われ、計画の全容が発表されました。その後次第に反対の機運が椋野地区に起こり、三蒲地区にも波及して行きました。

「ゴルフ場問題山口権連絡会」設立の準備が行われていることを知り、加入の申込みをしました。また田万川町や平生町での立木トラスト、松山での「環瀬戸内海会議」一周年記念総会に東元代表らが参加するなど、行動と研修を積み重ねて行きました。

その結果、立木トラストが最も有効な阻止手段との結論に達し、まず自力で会員募集を始めました。8月16日、お盆休みの帰省者へのアピールと、推進側の隙をつく形で、隠密にことを運び地元会員約15人で実行し、80本の立木に木札をつけました。そして10月6日、「環瀬戸」の方々約60人の御来援を頂いて、盛大にトラストが実施されました。山田國廣先生、井手敏彦先生をはじめ遠路ご来島の皆様ありがとうございました。

その後も「阻止」を実現するために、地元会員の手で次々と木札掛けを行っています。

(ふるさと大島の自然を愛する会事務局長)

ゴルフ場反対交流会

きょうから 柳井大島で 運動の多角化協議

ゴルフ場建設に反対する環瀬戸内海会議とゴルフ場問題県連絡会は五日から二日間、四万所に計画が持ち上がっている柳井市と大島で、講演会と交流会などを開く。すでに取り組んでいる立木トラストのほか、保安林解除の異議申し立てや水利権に対する不同意書提出など運動を強める方針。

瀬戸内海沿岸の環境保護の住民組織二十二団体が参加。五日は午後三時から柳井市文化福祉会館で、循環科学研究所の山田国広所長が「ゴルフ場・リゾート開発と瀬戸内海」と題して講演、各地からの報告があり、夜は交流会。六日は大島郡大島町椋野で現地視察と立木トラスト。正午から元沼津市長でゴミ問題に詳しい井手敏彦氏などを講師に交流会を開く。

昨年9月、トラストを開始して以来、1年弱を経過しました。この間、トラスト実施場所も、今回開始した周防大島の久賀町(山口県)を含め21ヵ所になりました。また、札かけ本数も8,000本に達しています(11月10日現在)。

しかし全て順調というわけではありません。5日夜の会議では、島根県的美都町で、一人の反対地権者のトラスト実施地を「島」のようにとりこんだ計画が堂々と県の認可の対象としされようとしていることが報告されました。こうした動きは岡山や広島でも出ています。

このことは立木トラストがいかに「効くか」の裏返しでもあります。こうして骨抜きにされたのでは効果は半減どころか皆無になります。会議ではトラストを補強するため、今後さまざまな取組み(不同意書の提出、保安林解除の異議意見書の集団提出、借地権設定による共有化等)をトラストと並行して実施することが確認されました。

また山田先生が提案された12月8日の大阪でのトラスト現地とオーナーの集会にも協力して行くことも確認されています。



事務局だより

【広島】大島のトラスト札掛けもすばらしい体験でした。現地には体をはってふるさとを守ろうと戦い、仲間の輪を広げておられる人たちがいます。この人たち、この美しい土地を、オーナーのみなさんにも見てもらえたらと切実に思いました。そんな意味でも今後はトラスト各地とオーナーとの直接の交流のお手伝いできればと考えています。12月8日の大阪の集会がそのきっかけになればと思います。近くの皆さん、どうかトラスト現地の人々に会いに来て下さい(原戸)。

【〃】来年のことを言っても鬼が笑うのに、この立木トラストはほとんどの所が契約を10年にしている。我々は10年後のことまで考えねばならないだろう(オーナーへの連絡は2年間だが)。10年後のこの運動の着地はどうなるのだろうか。皆さんからよいお知恵を拝借したいと思う(森田)。

〒733 広島市西区天満町 9-8 白土邸
「森と水と土を考える会」
TEL 082-296-1444



〒799-22 愛媛県越智郡 大西町九王 1710-28
鮫島 慎子
TEL 0898-53-4051

【今治】オーナー不足解消のため、いつも契約書を持ち歩いています。学生時代の友人、ふるさとの親せきにも手紙を書いて、オーナーになってもらっています。トラストの現地に行く。その山のこと、守らねばならない日本のふるさとたちのことが心にしみ、元気がわいてきます(鮫島)。

林と思想



そら ね ごらん
 むかふに 霧にぬれてみる
 葎(きのこ)のかたちのちいさな林があるだらう
 あすこのとこへ
 わたしのかんがへが
 ずみぶんはやく流れて行って
 みんな
 溶け込んでみるのだよ
 こゝいらはふきの花で いっぱいだ



—— 宮沢賢治『春と修羅』より

もくじ

「山と島と都市のつどい '91大阪」集会案内	1
” プログラム	2
トラストのみかん・イヨカンほぼ全滅 魏・中剛 泉 精一	3
台風一過のトラスト現地報告 事務局	4
列ズ: わたし、オーナーです(2)		
オーナーとしての願い 辯 井手 敏彦	5
どんな生命も大切 燻 宮浦 博子	6
生協活動とトラスト運動 鏝 辻 素子	”
列ズ: トラスト現地から(2)		
ゴルフ場ストップ、その後 嶋・上剛 福崎 裕夫	7
地域の間人関係を壊すゴルフ場 嶋・三姉 中岡 和巳	8
はじまった周防大島の立木トラスト 嶋・久剛 河村 保郎	9
トラスト1周年代表者会議報告 / 事務局だより 事務局	10

編集後記

今回からトラスト現地からみなさまへのお便りも入れて発送していただきました。いろいろな所の立木のオーナーの方にはそうした各地からお便りが届くと思います。できれば今後もこうしたいと思っています。

今回の編集は神戸の畑、北野、今治の阿部、そして広島船木の船木でした。次回は来年3月の発行予定です。

本誌の送り先の住所・氏名の誤りや変更等の御連絡は下記広島事務局まで。

瀬戸内トラストニュース 第3号

1991年11月10日発行

『環瀬戸内海会議』代表 阿部 悦子 ☎794 今治市別宮町 9-7-4

TEL (0898)32-0100

FAX(0898)23-9162

広島事務局「森と水と土を考える会」☎733 広島市天満町 9-8

TEL・FAX(082)296-1444

3/11の意いおい買ったたき(1部 100円)
 有難うございませ 感謝 城元